

第3回

UD まちづくり講座の検討 1_1

(1) プログラム

日 時 | 7月27日(土) 10:00 ~ 12:30

会 場 | 江東区文化センター 6階 第1~3会議室

内 容 | UD まちづくり講座のアイデアを出そう

- ・ 前回のまち歩きで感じた課題や対応を、合理的配慮の考え方に沿って整理し、合理的配慮についての理解を深めました。

タイムテーブル |

10:00 (10分) あいさつ

10:10 (25分) 今年度の目的、本日の進め方

10:35 (20分) 深川高校国際協力ボランティア部の活動紹介

10:55 (40分) **【グループワーク 1】**

- ・ 進め方の説明、前回の振り返り、合理的配慮について
- ・ 自己紹介
- ・ 前回で出た意見を元に、UD まちづくりマップづくり

11:35 (25分) **「環境整備」と「合理的配慮」の話とクイズ**

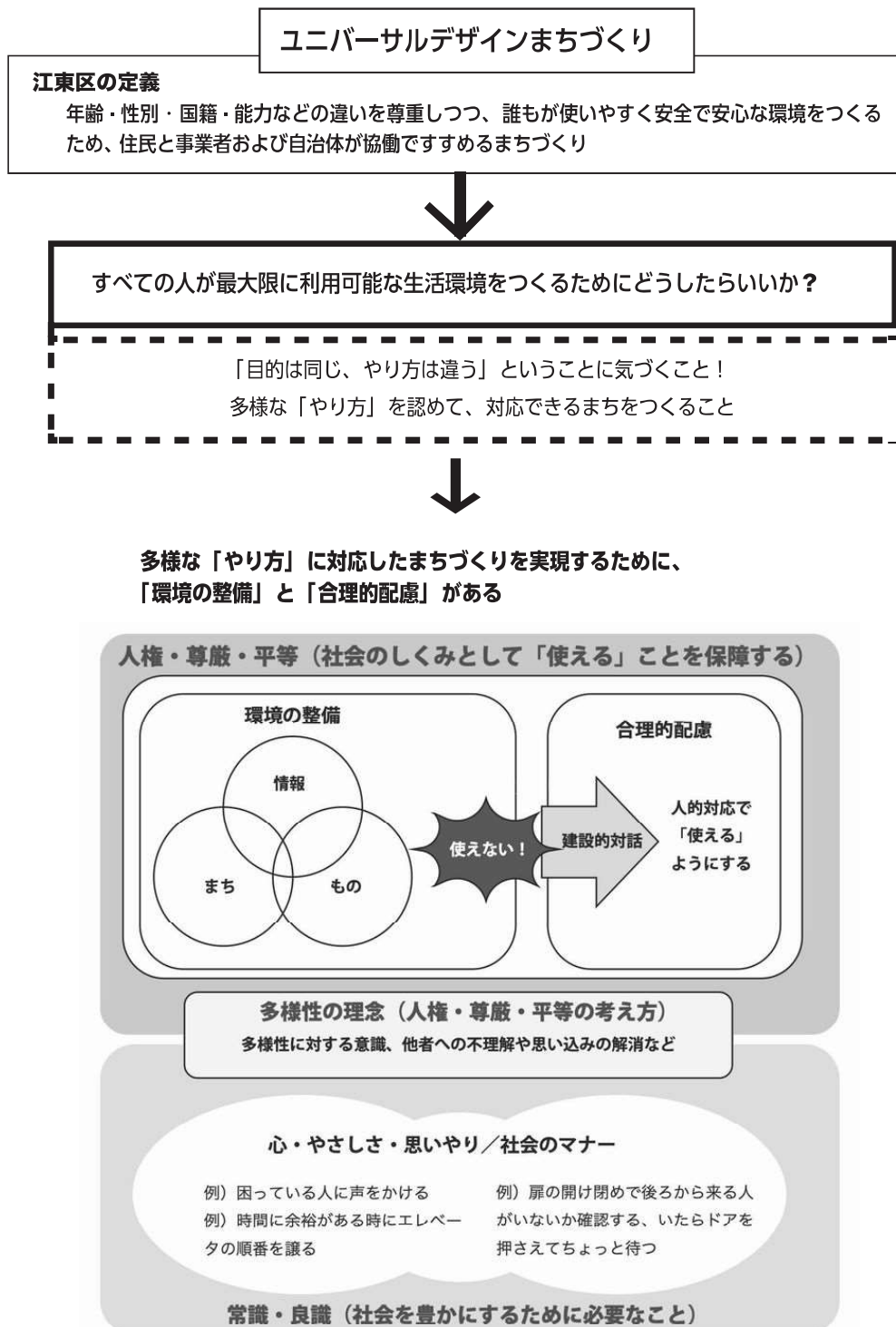
12:00 (30分) **【グループワーク 2】**

- ・ UD まちづくりマップに書かれた内容が、「環境整備（緑色シール）」か「合理的配慮（赤色シール）」か「個人の社会マナー（黄色シール）」を貼る。
- ・ 「合理的配慮」が実現する3つのステップ「本人からの意思表示」「過重な負担」「建設的対話」の内容を書き出す。

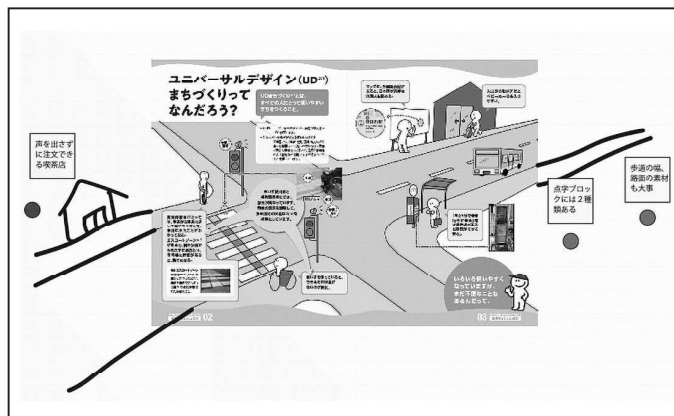
(2) グループワーク |UD まちづくりマップをつくろう

前回まち歩きをして気づいたことを、合理的配慮の考え方に沿って整理することを目的にした「UD まちづくりマップ」づくりをしました。

まちづくりマップをする前に、考え方の整理をしました。ユニバーサルデザインまちづくりを進めるには、誰もが使いやすいよう事前に考えて準備をしておく「環境の整備」が大切です。それでも使えない人がいる時には、合理的配慮により人の対応により使えるようにしていきます。



「環境の整備」と「合理的配慮」の違いを理解しところで、昨年度作成したまちのイラストをみながら、前回のまち歩きで気づいた「困りごと」や「人の対応」などを思い出し、模造紙に書き出しました。そのエピソードが「環境の整備」な場合は青いシール、「合理的配慮」だった場合は赤いシールを貼りました。



次の作業に入る前に、「環境の整備」と「合理的配慮」についての理解を深めるお話とクイズをアドバイザーの川内さんからしてもらい、みんなで意見交換をしながら理解を深めました。

合理的配慮のクイズ

以下は差別解消法が求める合理的配慮の提供に当たるだろうか。

- ①近所の店が、車いす対応トイレを整備した。
- ②近所の店が携帯スロープを購入した。
- ③交差点で信号待ちの時、視覚障害のある人から誘導してほしいと求められたので誘導した。
- ④レストランに全盲の人が来たので、店員が気を利かせて点字のメニューを渡した。
- ⑤エレベーターのない店に車いす使用者が来て、2階の商品を見たいと言ったので、危険だとは思ったが、人を集めて担いで運んだ。

ひととおり意見が出たら、各エピソードについて「当事者本人からどんな意思表示があったか」「事業者側に過重な負担はなかったか」「建設的な対話ができただか」を書き出し、整理しました。

本人からの意思表示	過重な負担	建設的対話